



宮古市 郷土を誇り次代につなぐひとづくり 教育委員会だより

No. 29

〔令和7年〕

3月15日号

発行 宮古市教育委員会
〒027-8501
宮古市宮町一丁目1番30号
☎ 0193-62-2111



「まず Kadatte」 合同トレーニングを実施

2月11日（火）に宮古市民総合体育館で、休日の中学校部活動地域移行実証事業の一環として「まず Kadatte」合同トレーニングが行われました。

今年度、部活動の地域移行の実証事業が本格的に実施され、その活動に参加した各地域クラブの生徒・指導者が一堂に集いました。

当日は70名の中学生と38名の指導者・市関係者が参加し、アイスブレイクで緊張をほぐした後、柔道、ラグビー、バスケットボールの基礎トレーニング、ニュースポーツのキンボールを体験し、笑顔を絶やさず、心地良い汗を流しました。

参加した生徒からは、「いつもと違う仲間と練習できて嬉しかった」、指導者からは「他競技の指導者と意見交換ができて良かった」などの感想が挙げられました。

今後も学校と地域が連携しながら、中学生にスポーツに親しむ機会の創出を図ります。

☎ 問い合わせ 生涯学習課(68-9120)

ぼく あん べん ぎゅう 牧庵鞭牛和尚の 功績を未来へ！

市指定有形文化財、築地の「鞭牛碑」を紹介する説明板を作り替えました。

和井内（新里）に生まれた牧庵鞭牛和尚（1710～1782）は、釜石の林宗寺を隠居後、閉伊地方の街道改修に生涯をささげました。特に宮古と盛岡をつなぐ旧宮古街道の改修は、多くの人々の命を救ったと伝えられています。

また、街道の改修には近隣住民が集まり、鞭牛の功績を称えとともに新道が末永く使えるよう「道供養碑」を建立しました。国道106号の起点に程近い旧NTTビルの裏（築地一丁目）にも、鞭牛の「道供養碑」が残されています。江戸時代に宮古の中心部だった「本町」と港町の「鉏ヶ崎」を結ぶこの場所には、かつて水際に突き出た岩山があり、波の高い日には通行が難しく、「七戻り」といわれた難所でした。そこで、鞭牛和尚が地域住民と協力し、高台に新道を通したと伝えられています。

新しい説明板は石碑に近づけ、道路から見やすくするとともに、絵図を加えて当時の地形が分かるよう改めました。明治に行われた築地の埋め立て工事により、かつての難所のおもかげはありませんが、「七戻り」の由来やふるさとの偉人について周知を図る取り組みを進めます。



←江戸末期の閉伊街道図



鞭牛道供養碑

（他の道供養碑と同じく「道供養橋野村林宗六世」と刻まれていたのでは？）

宮古市×^{た ら ま そん}多良間村 交流事業

多良間の友へ精一杯のおもてなし 感動!感激!感謝!日本で最も美しい村多良間村
第34次派遣団が宮古市と多良間村との絆を深めました



令和6年12月3日(火)～6日(金)に、
沖縄県多良間村児童生徒12名が宮古市を訪問し、
受入校での交流学习や市内施設で体験学習を行いました。

<宮古市体験交流学习の主な内容>

受入小中学校での交流学习
北上山地民俗資料館見学 うみねこ丸乗船
岩手県立水産科学館(わかめ芯抜き)
田老学ぶ防災 など

受入校に向かう車中では緊張の様子だった多良間の子どもたち。受入校での温かい歓迎を受け、帰りには「また明日も学校にきたい」と話していました。

受入校での交流と宮古市での体験活動を通して仲を深めた子どもたち。再会に胸を弾ませながら、多良間のみなさんを見送りました。



令和7年1月6日(月)～11日(土)に、
第34次派遣団(宮古市小中学生12名、引率者3名)が多良間村を訪問しました。新幹線や飛行機などを乗り継ぎながら約2300kmの長旅の末に到着した多良間村では、たくさんの方々から温かいおもてなしを受けました。

<多良間村体験交流学习の主な内容>

多良間小、中学校での交流学习
製糖工場見学 さとうきびしぼり
多良間のお菓子づくり シュノーケリング
アクセサリ製作 など

冬の多良間の海でシュノーケリング後に記念撮影



多良間村の自然や歴史や文化を学ぶとともに、人々の温かさや思いやりの心にたくさんふれた子どもたち。これからも互いの絆は続いていくことを誓い、別れを惜しみながら多良間村を後にしました。

☑ [教委]総務課

・学校給食費の完全無償化

令和5年4月分から児童生徒の「学校給食費の完全無償化」を実施しています。
令和7年度も完全無償化を継続するとともに、安全・安心な学校給食の提供に努めます。

・生きる力を育む事業

教育振興基金を活用し、子どもの健康な体、豊かな心、確かな学力を育むためのソフト事業を行う個人・団体（高校生が主体となる団体を含む）に対し補助金を交付し支援を行います。

☑ 学校教育課

・奨学金貸付制度

令和6年度から、世帯収入や学業成績の要件を廃止し、奨学金を必要とする全ての方が利用しやすい制度となっています。

学校種別	月 額	入学時加算額
高校	4万円以内	10万円以内
大学等	8万円以内	30万円以内
大学等(特別奨学生)	16万円以内	

・就学援助

経済的な理由により、学用品や通学用品などのお支払いにお困りの児童生徒の保護者の方に、市が必要な経費の援助を行います。

☑ 生涯学習課・文化課

・児童生徒大会等参加費補助金

全国規模、東北規模で開催される芸術文化、スポーツに関する競技大会に参加する児童生徒に対し、補助金を交付し、移動に要する経費等を援助します。

・賞賜金制度

全国大会等に参加する市民の方、団体に対し、「お祝金」を交付し、その活動を応援します。

教育委員会議の主な議案

(令和6年9月～令和7年2月)

☎問い合わせ 教育委員会事務局総務課(68-9114)

「教育委員会議」とは、教育行政に関して重要な事項を審議するための会議です。

令和6年9月から令和7年2月までの間、定例会を6回、臨時会を1回開催し、15件の議案を審査しました。主な議案は下記のとおりです。

- ◆ 令和5年度宮古市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に係る点検及び評価の実施に関し議決を求めることについて
 - ◆ 宮古市学校給食の実施に関する規則の一部を改正する規則
 - ◆ 宮古市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則
 - ◆ 令和6年度宮古市一般会計補正予算（第13号）に関する臨時専決処理に関し承認を求めることについて
 - ◆ 宮古市立学校の廃止に関し議決を求めることについて
 - ◆ 令和7年度宮古市教育行政方針に関し議決を求めることについて
 - ◆ 令和7年度宮古市一般会計予算（教育関連予算）に関し議決を求めることについて
- 教育委員会議は、どなたでも傍聴することができます。
開催日時等は、市ホームページでお知らせします。



ホームページはこちら→

開館30周年記念企画展を開催しています

北上山地民俗資料館の30年のあゆみを振り返る企画展を開催し、これまで行ってきた活動を3つのテーマに分けて紹介しています。

1つ目は旧小国中学校を活用した当館小国分館の活動です。小国分館は旧川井村の資料を収蔵していましたが、平成29(2017)年に旧宮古市、旧田老町、旧新里村で収集された有形民俗資料を移設しました。現在は、一括して管理しながら活用に向けた整理作業を行い、年2回イベントで収蔵資料を公開する取り組みを行っています。

2つ目は「小国分館友の会」の活動です。「小国分館友の会」は当館の活動に協力してくださるボランティア組織で、イベントの運営や体験学習、そして昔の道具を使った実演や調査記録など多岐にわたってご協力いただいています。結成から10年余りの活動の様子を会報や写真で紹介しています。

3つ目は小国分館に移設された資料の中から漁具資料の調査について報告するものです。当館は開館から山里の暮らしや仕事に関わる資料を収集してきましたが、沿岸部の資料を移設したことにより、まず初めに漁具について目録を作成し、実測図の作製や聞き取り調査を行いました。その内容をパネルにして紹介しています。

展示の内容は作成した開館30周年記念誌でも紹介しています。当館はこれからも地域の方々と協力しながら、昔の道具に込められた知恵や工夫を伝える活動を続けていきます。



展示の様子(漁具資料)

第27回企画展

「北上山地民俗資料館の30年～調査活動のあゆみ～」

- 会 期：～3月30日の開館日
- 入館料：一般200円、学生150円、高校生以下入館無料
- 問い合わせ先：北上山地民俗資料館 76-2167

初開催！ ービブリオバトルー



11月9日(土)、宮古市立図書館でビブリオバトルを開催しました。

ビブリオバトルとは、発表者がおすすめ本を持ち合い、1人5分の持ち時間で書評した後、発表者と聴衆が一番読みたくなった本「チャンプ本」を決定する、ゲーム感覚を取り入れた書評合戦です。

当日は発表者5名、観戦者22名が参加しました。発表者の熱い語り口に観戦者は引き込まれ、発表後のディスカッションでは活発な意見交換がなされました。

今後も読書推進事業の実施により、市民が生涯にわたって本を親しむ「読書まち宮古」を推進していきます。

☎問い合わせ 市立図書館(62-2414)



「小学生のための プログラミング教室」 を開催

2月15日(土)に市民交流センターで、「小学生のためのプログラミング教室」～マイクラフト アワー オブ コード～が開催されました。

参加した42名の小学生は、講師の白石雅一氏のアドバイスを得ながらゲーム感覚で家を建てたり探検したりと、楽しみながらプログラミングを体験しました。

キャラクターの動きを予測しながらのプログラミングに苦戦する様子も見られましたが、「ちょっと難しかったけど楽しかった」「宝石をとるミッションが楽しかった」などの感想が挙げられました。

☎問い合わせ

生涯学習課(68-9119)
(宮古ユネスコ協会事務局)